

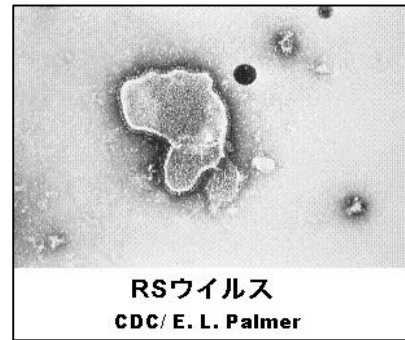
山口県感染症発生週報

(第44週:平成23年10月31日～11月6日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆結核: 第43週追加: 3例(いずれも下関)。第44週: 2例(いずれも岩国)。



RSウイルス
CDC/ E. L. Palmer

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ◆インフルエンザ: 患者発生報告が、岩国、柳井、周南からありました。迅速検査では、A型陽性24例、B型陽性1例、臨床診断2例でした。また当所の検査では、第42週の検体からA/H3型(香港型)が2例検出されています。
- ◆RSウイルス感染症: 過去4年間の同時期と比較して多い状況で増加しています。特に山口は今週急増しています。全国的にも例年と比較して多い状況ですので注意が必要です。
- ◆感染性胃腸炎: 増加傾向が見られます。特に周南で報告が多く、警報レベルが続いています。冬季はウイルスを原因とした感染性胃腸炎が流行しやすいので今後の動向に注意が必要です。
【警報レベル=周南】※
- ◆手足口病: 今期は大流行しましたが、県全体としては第41週に警報レベルの終息基準値を下回りました。警報レベル継続地域は長門のみです。【警報レベル=長門】※
- ◆伝染性紅斑: 長門は過去4年間の同時期と比較して4年ぶりに多い状況が続いています。
【警報レベル=長門】※
- ◆マイコプラズマ肺炎: 報告数が多い状況です。全国的にも例年と比較してかなり多い状況ですので注意が必要です。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuyuihp>

(2)週別発生状況

疾患名	42週	43週	44週	疾患名	42週	43週	44週
インフルエンザ	49	34	27	百日咳	0	0	0
RSウイルス感染症	37	43	71	ヘルパンギーナ	29	16	8
咽頭結膜熱	7	10	7	流行性耳下腺炎	44	13	32
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	69	79	59	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	354	400	456	流行性角結膜炎	4	3	4
水痘	45	21	43	クラミジア肺炎	1	0	0
手足口病	50	50	38	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	15	21	15	マイコプラズマ肺炎	16	10	9
突発性発しん	33	38	47	無菌性髄膜炎	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	19	6	2	0	0	0	0	0	27
RSウイルス感染症	12	7	4	7	1	31	7	2	0	71
咽頭結膜熱	0	1	0	0	5	0	0	0	1	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	3	4	12	0	13	7	0	11	59
感染性胃腸炎	50	40	3	248	21	41	37	7	9	456
水痘	9	11	2	8	4	4	3	2	0	43
手足口病	7	5	0	16	1	2	0	6	1	38
伝染性紅斑	0	1	1	3	0	3	1	6	0	15
突発性発しん	12	4	1	7	3	9	2	8	1	47
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	2	3	3	0	0	8
流行性耳下腺炎	26	1	1	2	0	0	1	1	0	32
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	0	3	0	0	0	0	0	0	4
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	3	0	5	0	0	0	1	0	9
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

山口県感染症情報センター(山口県環境保健センター内)
電話: 083-922-7630 FAX: 083-922-7632
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/>